

シャープ社友会 栃木支部会報

第42号

支部設立30周年記念号

nikko

2018. 7. 1 発行

発行責任者 荒田英治

<http://www.tcg-syayu.co-site.jp/index.html>



金色に輝く国宝『陽明門』

撮影:大屋信幸(会員番号5522)

平成三十年度スタートにあたって

シャープ社友会 栃木支部

支部長

荒田 英治



社友会栃木支部会員の皆様におかれましては、日頃より支部活動へのご理解と、ご支援を賜り役員・幹事一同を代表し感謝申し上げます。

迎えました平成三十年度は栃木支部設立三十周年を迎える節目の年になる事から、記念に残る事業を行いたいと考えています。

会報「nikko」は三十周年記念号として設立当時の歴史を振り返る形の記事などを盛り込み、ボリュームのある内容で今般皆様のお手元に届ける事ができる事となり、本会報の編集に係わった編集委員の仲間と共に、その一人として大変喜んでいきます。

もうひとつ末永く形に残るものとして、記念植樹を計画しており、矢板市の管理する長峰公園もしくは川崎城跡公園などを候補地に市の窓口と調整を進めていて、秋口には記念植樹祭を開催する予定です。

本年度も会員相互の親睦を深める事ができる恒例の支部懇親行事は例年通り立案・実行する事としていますが、秋に計画している懇親バス旅行においては記念すべき年でもあり、より多くの会員諸氏が参加頂けるような内容を検討していきたいと思えます。

各クラブ・同好会は現在活発な活動を進めて頂いていますが、支部よりの援助金は基金を取り崩しせねばならぬ財源状況もあって、本年度より従前の運用金額に戻させていただく事態となつてしまい、大変心苦し

いのですが、クラブ・同好会へ新規に入会される方が増えるよう、全会員あてPRするなど支部としてのサポートを引き続き行つて参りたいと考えています。

現在、会社の状況は過去の危機を脱し、売上・利益とも前年より大幅に改善され、従来未定とされていた前期の期末配当が六期ぶりに復配されました。

私たち社友会として会社を応援できる事はシャープ製品を購入・愛用するとか、シャープ・グリーン・クラブの活動に賛同し現役の皆さんと共働する程度しかできませんが、今までも続けてきた工場構内の草刈り支援や「シャープの森 in やいた」の整備などにはこれからも積極的に参加していきたいと思えます。

また、従来から地域住民との交流もある川崎城跡公園整備など社会貢献活動には継続して取り組み、一部の役員・会員だけにとどまらず全会員に参加を呼び掛け、社友会として今まで以上に地域貢献に寄与していきたいと思つています。

これら社友会栃木支部の各種活動情報については隔月に郵送する資料や、随時更新されている支部ホームページ・年二回発行の会報を通じ告知・報告する事で情報の共有化を行い、会員相互の連携強化を引き続き図つて参ります。

二〇四五年には今十代の若者が「人生百歳時代」を迎えるといわれており、現在の平均寿命は男性が約八十一歳、女性は八十七歳と私たちの世代ではそこまでの長寿は望めないかと思いますが、まだまだ長い人生会員の皆様が社友会を通じ、元職場の垣根・年代を超えた仲間づくりを行い、各種行事やクラブ・同好会に参加いただいて、心身ともに健康に楽しく充実した日々を過ごされることを願つております。

シャープ労働組合 栃木支部

執行委員長

大畠 明人

栃木支部設立三十周年をお祝いして



社友会栃木支部の皆様におかれましては、日ごろより荒田支部長様をはじめ、多くの皆様にシャープ労働組合栃木支部の活動に対する格段のご支援とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

また本年はシャープ社友会栃木支部設立三十周年を迎えられ、誠にめでとうございます。改めてお祝い申し上げます。

また、日頃よりシャープ労組組織内議員「中村ひさのぶ」へのご支援に心より感謝申し上げます。昨年五月をもつて二年に渡る議長職を退任後、現在は議会運営委員長、議会改革推進特別委員長として引き続き議会改革に取り組むと共に、次世代を見据えた、子供たちの教育や医療費の助成など、安心して子どもを産み・育てることのできる環境づくりに取り組んでいきます。

さて、皆さまもご存じの通り、シャープは昨年十二月に東証一部への復帰を果たすことができました。また、四月二十六日に発表された二〇一七年度の決算発表においては、私たちのテレビシステム事業本部が属するアドバンスディスプレイシステムを筆頭に全セグメントで売上高が伸長し、利益もリーマンショック前となる二〇〇七年度以来、十年ぶりに全四半期が最終黒字、そして皆様から長くご期待頂いていた株式の配当につきましても、二〇一一年度以来、六年ぶりに

TVシステム事業本部

本部長 喜多村 和洋

栃木支部設立三十周年を祝して



でございます。心から感謝申し上げます。

社友会栃木支部が設立三十周年を迎えられましたことを、謹んでお慶び申し上げます。また、支部設立以来、長きに亘り当社社員に対するご指導、ご鞭撻を賜り誠に有難うございます。

さて、社友会の皆様の厚いご支援のお蔭もあり、当社の二〇一七年度の業績は、四月二十六日の決算にて発表しておりますとおり、売上／利益とも前年から大幅に改善しました。

売上は前年比＋18%の増収、利益も順調に推移し、十年ぶりに全ての四半期で黒字となりました。

当本部としても、液晶TVの販売が海外を中心に大きく拡大し、二〇一七年度の販売台数は、一千万台を上回ることができました。

二〇一八年度に向けては、展開地域の拡大、商品力強化による各国のシェアアップを図り、一層の販売拡大に取組むと共に、BDレコーダーやオーディオを含め、本部全体での更なる業務拡大を目指して参ります。

事業拡大のキーワードは「8K」です。

昨年は、世界初の8K対応テレビを発売し、日刊工業新聞十大新製品賞を受賞した他、ディスプレイに関

する世界最大の国際学会SID (Society for Information Display) の「Year of the Year」として表彰される等、8K市場を牽引する我々の取り組みに対し、メディア、学会より高い評価を頂きました。

今年は8K第2展開として、他社に先駆けた取り組みを加速します。今年の十二月一日には8K放送がスタートする他、カメラや映画、ゲーム、そしてネット動画(YouTube等)においても、8K化が進んでいきます。



この流れを踏まえ、五月十六日に開催したメディア向けTV事業懇談会において、この秋には8KTVに加え、録画機やオーディオ、チューナーといった8K商品群を全面展開することを宣言しました。

我々の取組みを「一人旅」と揶揄するメディアもありますが、確かに8Kで新しい需要を創造することは、大きな挑戦です。しかし、挑戦こそが栃木事業所の歴史だと考えています。

先輩方から受け継いだAV事業の更なる発展に向けて、新たな挑戦に取組んで参りますので、変わらぬご支援を賜ります様、お願い致します。

最後になりますが、社友会栃木支部の益々のご発展皆様のご健勝とご多幸をお祈りし、お祝いの辞とさせていただきます。

実施することができました。

これは現経営陣と全従業員の協力はもとより、危機的な状況のなかにあってもシャープを応援してくださる多くのお客様、お取引先をはじめ地域も含めた関係者のご支援の賜物と考えております。矢板工場としても本年が操業五十年と一つの大きな節目を迎える中で、こうしてシャープの再生と新たな成長が具現化できますこと、多くの関係者の皆様と強固な信頼関係を築いてこられた社友会の皆様に心より感謝を申し上げます。

二〇一二年二月に経営危機に陥って以降、私たちシャープ労組は、「明日のシャープは私たちがつくる。」ともに考え、ともに行動する一をスローガンに、成長し続ける「強い個と強い組織」を作る運動を進めてきました。これは人の成長こそが会社の成長につながり、成長し続けることこそが、次の一〇〇年続くシャープにつながると思えるからです。

二〇一八年闘争では「シャープの持続的成長」に向けた課題やテーマについて協議し、「中期経営計画の完遂」という共通目標を達成させるための四つの労使取り組み ①社長メッセージの展開 ②人事評価の適正運用 ③学び続ける職場風土の醸成 ④働き方改革の推進 について確認しました。二〇一八年度は中期経営計画の完遂に向けた大事な二年目であり、栃木事業所においても、この四つの取り組みを労使で確認し、組合員の経営参画を重点に取り組んでいきます。労組は引き続き組合員と会社の良き相談相手として、これからもしっかりと運動を進めて参りますので、社友会の皆様におかれましては、今後とも私たち後輩の頑張りを温かく見守って頂きますようお願い申し上げます。

結びに、社友会栃木支部の益々のご発展と、会員皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げ挨拶とさせていただきます。

栃木支部三十周年記念 祝辞

シャープ社友会

会長 真 康雄



栃木支部、設立三十周年を迎えられることとなり、心からお祝い申し上げます。

栃木の事業所は「液晶ビューカム」と言う新たな

商品を生み出し、またブラウン管TVから液晶TVへと事業構造の大変革を成し遂げてこられました。

こうした困難を乗り越えた仲間が一九八九年に栃木支部を発足され、歴代の各支部長はじめ会員の皆さんの社友会への熱い思いで拡大してこられました。

特に地域の清掃、環境保全のボランティアにも積極的に参加され地域に愛される存在になっていると伺っており、皆様のご努力に敬意を表したいと思います。是非、引き続き栃木支部の拡大に向けて推進頂けるよう期待をしております。

今年、シャープは四年ぶりの黒字決算となり、やつと本格復活が果たせたと喜んでおります。

戴社長はじめ経営幹部の皆様、また経営方針に沿って大変努力をされた社員の皆様に感謝の気持ちで一杯です。

こうしたことから、ここ数年の社友会離れも治まってくると考え、新規会員登録に向けてシャープと協力して活動を始めたところです。

イントラネットに「社友会からのお知らせ」のページを設けて頂き、普段から社友会の情報を見てもらえ

るようにしましたが、一方では、社友会を良く知っている我々仲間から社友会未加入の方への声掛けも大事で、取組を始めております。皆様とも一緒に進めながら、何としても会員増加を図りたいと考えています。

社友会としては健康で楽しい生活の一助となる活動や催事の継続強化と、仲間との強い絆作りのための各種会合の増加、情報量の拡大を図って参ります。

最後になりましたが、栃木支部の益々のご発展と、会員皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

矢板市議会議員

中村 久信



シャープ社友会栃木支部の皆さまには、創立三十周年を迎えられましたこと誠に

おめでとうございます。心よりお慶びを申し上げます。

これまで運営されてこられました役員の皆さま、会員の

皆さまのご労苦に心より敬意を表します。

今年、労組栃木支部も五十周年を迎え、また、矢板市も市政施行六十周年の節目の年でもあります。

私も、皆さまのご支援を戴き矢板市議会に送っていただいて十五年が経過いたしました。この間皆さまの叱咤激励をいただきながら、皆さま方の代表として活動ができましたことを大変うれしく思っています。

また、行政にかかわる一員として、OBの皆さまがそれぞれの住まいの市政町政発展における各方面

でご活躍されていますことを誇りに感じるとともに大変心強く思っています。今後引き続き矢板市を含め各市町の発展に寄与いただきますようお願い申し上げます。

さて、人口減少に突入し超高齢社会が進展する中、

社友会の皆さまにおかれましては、これまでの経験を生かし、引き続き専門分野での活躍や、新たな分野での活躍、社会貢献活動や、趣味の分野での活躍など、さまざまな分野で生き甲斐を持って健康で活躍いただきたく願っているところでございます。

その中にあるのは、社友会のクラブ活動や同好会においては積極的に活動されており、会員の皆さまの生きがいづくりや健康づくりに大きく貢献されています。役員をはじめ、運営にかかわる皆様のご労苦に敬意と感謝を申し上げます。

今後、皆さま方のご指導を戴きながら、住みよいまちづくりに向け、力一杯取り組んでまいりますので、引き続きのご支援をお願い申し上げます。

結びに社友会栃木支部のますますのご発展と会員の皆さまのご健勝ご活躍をご祈念申し上げます。祝いの言葉いたします。

栃木支部を顧みて

栃木支部元顧問

浦川 正司



栃木支部設立三十周年を迎え お祝い申し上げます。

何か記事をと依頼されて、この三十年を振り返りました。支部設立二年後に、支部長を担当することになりました。設立間もない当会を、どのよう

に運営すれば良いかと、苦悩の日々でした。まず、会員相互の親睦を重視し「懇親旅行」を実施しました。

これにより、各自がそれぞれの和の結びつきを築くことができたと思います。

会を重ねるうちに、「支部会報」との声上がり、三友氏が中心となり第一号が発刊し、現在に至っています。その後、詩史探訪会・写真・ビデオ・釣り・竹細工と各クラブ・同好会が設立し、現在もまた次々とクラブが出来ています。各クラブでの責任者のご苦労は大変だと思われ、お礼とともに現在の盛況も会員の皆様の結びつきがあったからだと思います。

走馬燈が一段と明るくなり・・・シャープサマーフェスティバル・・・会員各位が提供された二〇〇



平成13年のチャリティーバザー

点強の商品を汗を流しながら販売もしました。人と人との会話・人生の過し方など、いろいろな面で勉強になりました。売上金は、矢板市社会福祉協議会へ寄付しました。今後の再開を心待ちにしています。支部行事には、会員皆さんが進んで参加し走馬燈の場面を

増やし過ぎ行く年輪に残していきましよう。夏の夜の花火のようでした。笑って人生を過ごしましよう。

最後に、栃木支部の今後、四十周年・五十周年と益々のご発展をお祈り申し上げます。



平成7年の初チャリティーバザー



設立20周年記念植樹祭にて

「支部長を二期六年務める」

栃木支部顧問

岩村 博



社友会栃木支部三十周年誠におめでとうございます。三十周年、月日のたつのは早いものという一語につきます。社友会栃木支部の結成は、総務部と労働組合との協議が整い結成に向けて検討することになりました。これから退職する人が増えてくる。何とか社友会をつくりたいという純粋な気持ちで検討に入りました。当時、私は総務部に在籍、組合の役員も務めていましたので会則・細則を含め結成に係わる案件をまとめてきました。

当時、総務部藤田部長の尽力により、結成趣意書を作成、社友会本部（本社）にお願いに行き、趣意をご理解いただき結成の運びとなりました。

最大の課題は事業所内に社友会室をつくること、当時資金が無く事業本部だけでなく本社の援助も不可

欠でした。皆さんからは折角つくるのだから少し広く和室が良い、食堂内で売店の近くが良い、とだんだん希望は膨らみ、資金はないので苦労をした事を藤田部長は、懐かしく思い出されていました。

私は支部長を二期六年務めてまいりました。その間役員・会員の皆さんのご協力を得、活動ができました。社友会全支部の中で栃木支部だけ開設できていなかったホームページの開設が推進委員のご尽力により実現できました。ホームページについては専任の副支部長を決め、運営委員を任命し委員会を開き、ホームページに関わる研修を含め充実に努めてきました。社友会本部にリンクさせ開設しました。このホームページの活用を一人でも多くの皆さんに望みます。

社友会栃木支部二十周年記念の取り組みは、推進委員会を立ち上げ、実施に向けた具体的検討を進め、大安の日に設立二十周年記念行事を、会員・会社代表・労働組合代表の出席をいただき、出席者全員がスコップで土盛を行い植樹（つげの木）を行いました。

地域に密着した活動を展開するシャープグリーンクラブ（SGC）に社友会も参加、環境ボランティア活動を中心にさまざまな社会貢献活動を労使共同で企画・運営する組織として発足しました。参加者自らが汗を流して活動することで、環境意識とボランティアアマインドの高揚を図りながら地域社会へ貢献することを目的としています。

社友会が永年に亘り矢板市福祉協議会に多額の浄財を寄付、地域福祉の為に尽くしたとして表彰を受けました。この表彰は会員の皆さんからシャープサマーフェスティバルで提供して頂いた物品のバザー益金とカンパ金を毎年寄付してきた事によるものです。

この記念すべき三十周年を一つの節目として、会員相互の親睦を深め、充実した活動を展開し社友会の今後益々の発展と会員の皆さんのご健勝を心からお祈りし、お祝いの言葉といたします。

栃木支部 30年のあゆみ

シャープ社友会栃木支部は本年設立30年の節目を迎え、今迄の足跡を項目別に集計してみました。

会員数：基本的に各年の3月末時点
下線付参加者数：会員＋来賓

■ 歴代支部長

平成 1年～4年	木村 正	平成 4年～17年	浦川 正司	平成17年～23年	岩村 博
平成23年～29年	増田 武司	平成29年～現在	荒田 英治		

■ 会員数推移 / 支部定期総会 / 新春賀詞交歓会

平成	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年
会員数	46	60	62	67	66	78	81	88	96	120
総会	社友会室			グランド平安					イースタン	乃木温泉
参加者	33	?	?	35	40	39	47	45	54	36
交歓会	—			グランド平安			大金温泉	乃木温泉ホテル		
参加者	—	—	—	—	37	41	37	30	33	40
平成	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
会員数	127	133	152	183	191	216	228	237	254	267
総会	仲よし			大田原ふれあいの丘 エスポワール						
参加者	50	46	51	63	72	63	69	54	63	72
交歓会	乃木温泉ホテル	エスポワール	那須温泉アズマ	エスポワール	乃木温泉ホテル	鬼怒川観光ホテル	大田原ふれあいの丘 エスポワール			
参加者	42	40	36	48	60	49	57	49	59	61
平成	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年
会員数	294	341	376	390	393	382	367	357	341	326
総会	大田原ふれあいの丘 エスポワール				事務棟	大田原ふれあいの丘 エスポワール				
参加者	78	75	103	90	90	93	82	72	73	65
交歓会	鬼怒川観光ホテル	ホテルサンシャイン 鬼怒川								
参加者	53	60	53	52	39	38	38	39	32	33

■ 本部年賀会の視聴会

- ・平成19年～24年の1月に、社友会本部年賀会のテレビ衛星放送視聴会を事務棟集会室で実施。
- ・平成25年からは毎年2月または3月に、本部年賀会録画DVD視聴会を事務棟集会室、社友会室で実施。

■ 栃木支部会報（発行年月 / 号数）

① 会報名称：1～21号「日光」、22号～「nikko」

② 印刷様式：34号から全頁カラー印刷化

平成	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年
号数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5月/1号
平成	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
号数	1月/2号 5月/3号	1月/5号 5月/6号	1月/7号 5月/8号	1月/9号 5月/10号	1月/11号 5月/12号	1月/13号 5月/14号	1月/15号 5月/16号	1月/17号 5月/18号	1月/19号 5月/20号	1月/21号 6月/22号
平成	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年
号数	1月/23号 6月/24号	1月/25号 6月/26号	1月/27号 7月/28号	1月/29号 7月/30号	1月/31号 7月/32号	1月/33号 7月/34号	1月/35号 7月/36号	1月/37号 7月/38号	1月/39号 7月/40号	1月/41号 7月/42号

■ 懇親行事一覧

年 月	懇 親 行 事	参加者	年 月	懇 親 行 事	参加者
H2/10 月	箱根―熱海―伊豆周遊の旅（1泊）	?	H16/4 月	亀山工場見学会	?
H3/10 月	奥羽・三陸みちのくの旅（1泊）	?	9 月	片貝の花火大会観賞の旅（1泊）	30
H4/10 月	箱根周遊とシャープ幕張ビル 見学の旅（1泊）本部と合同開催	13	H17/10 月	南房総半島周遊の旅（1泊）	23
H5/10 月	谷川岳―天神平―伊香保温泉の旅 （1泊）	23	H19/10 月	会津街道紅葉と菊人形展（日帰り）	33
H6/10 月	甲府―身延山―石和温泉の旅（1泊）	35	H20/10 月	栃木支部設立20周年記念植樹祭	38
H7/11 月	足尾銅山―富弘美術館―老神温泉 の旅（1泊）	27	H21/4 月	花見とBBQ懇親会【初】 （塩谷町自然休養センター）	33
H8/10 月	箱根―伊豆下田周遊の旅（1泊）	19	H22/4 月	花見とBBQ懇親会	39
H9/10 月	鳴子峡―仙台松島周遊の旅（1泊）	38	H23/10 月	善光寺と北向き観音旅行（日帰り）	32
H10/8 月	山形花笠踊り―仙台七夕祭り見学 の旅（1泊）貸切お座敷列車に乗車	25	H24/4 月	花見とBBQ懇親会	46
H10/10 月	三保の松原―日本平― 久能山東照宮周遊の旅（1泊）	33	H25/4 月	花見とBBQ懇親会	39
H12/10 月	水戸の史跡探訪―いわきグルメの旅 （日帰り）	29	10 月	白水阿弥陀堂見学と鶴の岬温泉	34
H13/10 月	十和田湖―奥入瀬―田沢湖 周遊の旅（1泊）	19	H26/4 月	花見とBBQ懇親会	47
H14/10 月	鶴岡八幡宮―鎌倉大仏周遊の旅 （日帰り）	17	10 月	行田市・足利市方面旅行（日帰り）	29
H15/10 月	松島―金華山周遊の旅（1泊）	21	H27/4 月	花見とBBQ懇親会	38
			11 月	第1回懇親ボウリング大会	59
			H28/4 月	花見とBBQ懇親会	39
			11 月	第2回懇親ボウリング大会	62
			H29/4 月	花見とBBQ懇親会	31
			10 月	ひたち海浜公園散策と昼食会	31
			H30/4 月	花見とBBQ懇親会	32

■ 栃木支部ホームページ

＜注＞ホームページのあゆみ詳細は15頁をご覧ください。

・平成18年12月栃木支部ホームページ開設

・開設後の累積閲覧数：5万回 / 平成24年5月 10万回 / 平成27年5月 15万回 / 平成29年7月

■ クラブ・同好会の発足年月

＜注＞現在活動中の同好会のみ記載

同 好 会 名 称	発 足 年 月（平 成）	同 好 会 名 称	発 足 年 月（平 成）
ゴルフ同好会	7年10月	グラウンド・ゴルフ同好会	25年12月
歩こう会	11年10月	太極拳同好会	28年1月
カメラクラブ	12年5月	麻雀同好会	28年1月
パソコンクラブ	13年2月	ボウリング同好会	29年1月
カラオケ同好会	20年5月		

■ 社会貢献活動 / SGC活動への参画

・平成17年5月SGC活動に初参加してから、毎年3月～11月に掛けて参加し、現在も活動を続けています。
活動内容は主に清掃及び草刈り活動です。具体的には長峰公園周辺の清掃 / 「シャープの森 in やいた」の
草刈り / 矢板駅周辺の清掃 / 運動公園周辺の清掃 / 川崎城跡公園周辺の草刈り / あんどん祭りの準備と
後片付け / 矢板花火大会後の清掃 / 矢板事業所内の草刈りと刈込み等です。

■ シャープサマーフェスティバルへの参画

・平成7年～22年の7月にシャープグラウンドで実施されたシャープサマーフェスティバルに参画して
チャリティーバザーを出店、売上金を矢板市社会福祉協議会へ寄付しました。現在は休止中です。

第三十回 栃木支部定期総会開催

五月十二日（土）第三十回支部定期総会を会員六五名ならびに来賓三名の参加にて、大田原市ふれあいの丘シャトーエスポワールにて開催致しました。

冒頭、荒田支部長より本年が栃木支部設立三十周年の節目にあたり歴々の会長や役員に感謝の意が表明されました。またシャープ（株）の業績も回復基調にあり喜ばしい事である旨や社友会本部総会の状況報告がありました。

続いて来賓のTVシステム（事本）鳥井総務部長の代理・鈴木課長ならびに労働組合栃木支部・大島委員長代理・伊東副委員長より回復から成長軌道にある会社の状況や組合活動の現況紹介、中村矢板市議会議員からは四期目となる議会活動の紹介等、挨拶と祝辞をいただきました。

議事審議においては議長として十二班・針原幹事を選出し、議案書に沿い平成二十九年度の活動報告、会計報告、会計監査報告を行い承認されました。引き続き執行部より支部設立三十周年の記念事業を含む平成三十年度の活動計画案、それを支える予算計画案が上程され、三十周年記念行事や経費節減等についての質疑応答を経て承認頂きました。

同好会活動では各幹事より二十九年度の活動報告と三十年度計画が紹介され、了承されました。

最後に、事務局から支部細則の改訂された項目の報告を行いました。以上にて第三十回栃木支部定期総会は滞りなく終え閉会となり、集合写真撮影に続き、懇親昼食会にて、ひととき懇談の後、散会致しました。

< 平成30年度 役員体制 >

顧問	岩村 博
顧問	増田 武司
支部長	荒田 英治
副支部長	山本東洋治
副支部長	黒川 健一
副支部長	青木 正和
事務局長	後藤 講榮
事務局次長	山口 重一
事務局次長	齊藤 順一
会計	平 暁雄
会計監査	佐藤 龍雄
会計監査	辻 勉

（本年度は役員の改選はありません）



定期総会風景



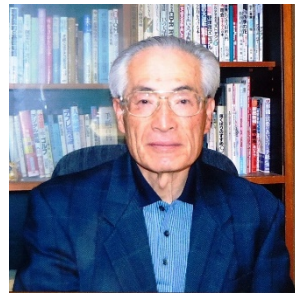
懇親昼食会風景



第30回定期総会出席者

喜寿を迎えて

会員番号 一七九七 城本 昭



昨年十一月に喜寿を迎え、社友会よりお祝いを頂き、ありがとうございます。現在子供達三人は所帯を持ち、妻と二人の平凡な生活が続いています。健康管理と趣味では常に何事にも目標を持ち継続することを心がけ、これからの人生を悔いのない様に一日一日

を大切に生きていたいと思います。

健康管理は毎日の体重測定、早寝早起きの励行、七時間睡眠、四十分ウォーキング、ラジオ体操、バランスの良い食事等です。

運動と食生活に気をつけ、認知症、脳梗塞の予防が出来ればいいと思っています。

趣味は月四回〜五回のゴルフ、カラオケは月一回の発表会に参加、それに二ヶ月に一回の旅行です。

ただ一昨年大腸がんで腹腔鏡手術をしました。人間ドックと、胃・大腸内視鏡も十年前から二年毎に受診していたが発見されず、市の定期健診で見つかりました。

早期発見で他の臓器への転移もなく、術後十日間で退院出来ました。

社友会の皆様も定期的な健診をお勧めします。

会員番号 一七九四 松山 善匡



社友会より喜寿のお祝いを戴き、厚く御礼申し上げます。突然届けて戴き、エー何のお祝いと一瞬ビックリ、顧みれば退職後既に十七年を経過し、平々凡々と過ごして来ましたが、以前「天寿の道

喜寿は嬉しい喜びの年よ、

あなたこれから老楽の道、お迎えの来た時は只今留守と言

い無視せよ」との話を聴いたことをふと思ひ出しました。これら老楽実行には健康で体力が必要であるが？何とかしてサボりたい年齢期、この時期体力維持継続に徹するため、期限付き目的を定め、無駄金使わず知恵と体を使うことが重要、その一例として

- 一、二十分以上最速歩きし環境の変化等を探索する。
- 二、勇気を出し地域のシニアクラブに参加し活動する。
- 三、時には、道の駅那須与一の郷等の野天古物商を巡り、店主とルーツ他を話しながら楽しむこと。
- 四、食べ放題の店の奉仕者にならぬよう頑張ること。

他、お互い無理せず老楽の道を楽しみましよう。これら、とりとめのない記述「私の行動で独り言」ご参考まで。

最後に、社友会の発展と会員皆様方のお達者でーを念願します。

会員番号 一八二二 富岡 正雄



この度は、社友会から喜寿のお祝いを頂きまして有難うございました。

喜寿を迎え、退職から現在までの十七年間を思い返しますと、現役時代には入院の経験もありませんでした。

生や不注意が原因とは思えない不調で三回の入院を経験し、その度に身体の部品を失っていく(摘出手術)を経験しました。幸いにも、その後は年齢相応に体力の衰えを感じることもあるとは言え、特に健康上の悩みはありません。

健康の維持についてこだわらなくてもありますが、先人が言い古した「規則正しい生活と食事の内容」、「適度な運動」については意識しています。実践するにあたっては自身の心がけはもとより、家族の不断のサポートに感謝しています。

また、日常の全ての移動を車に依存し過ぎる結果、便利が無理のない運動の機会を奪っているのかも知れません。可能な限り適度の散歩を欠かさない事に加え、八年前から始めたテニスも十名ほどの仲間と楽しく続けています。

会員番号 一八四四 鈴木 紘一



退職してはや十七年。光陰矢の如し、まさにその通りです。男子寿命は八十何歳と言われています。私もあと三年、四年は元気に生活していこうと思う次第です。私はネコの額ほどの畑で、少量多品種の野菜を作

っています。これが私の健康の秘訣です。六、七月頃の梅雨時、雑草の生育には参っています。畑を見ながら次は何を植えようか考え、店に行つたときなど買い物をしている人を捕まえてはおしゃべりがてら尋ねてみたり、一人でインターネットから調べてみたりしています。

またシルバー大の部活でハワイアンバンドを仲間と組んで介護施設を訪問しています。

楽器はギター、エ

レクロトベース、

キーボード、ウク

レレなどを使い演

奏しています。そ

んなボランティア

活動も仲間がいる

ことで十年続いて

います。私の地元

でもたくさんの方

会に向かうのを実

感しているところ

です。

願わくば、できる

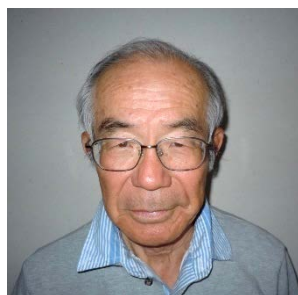
だけ今の生活を続

け、なるべく施設



左から2番目でマイクを持っているのが筆者

会員番号 一八八一 中野 武久



お陰様で健康寿命印付き喜寿を迎える事が出来ました。これも内助の功と大感謝。忍者の里、三重県伊賀盆地を離れ大阪へ、社会人満六十歳の節目。大阪↓海外(米西岸・ロス)↓矢板↓大阪↓海外(米東岸、NJ

／NY)↓矢板↓大阪↓海外(フィリピン・マニラ)

↓矢板↓東京↓矢板と転々、大阪↓海外↓矢板の

トライアングル赴任ルートを三度繰り返し、その内、

外生活期間は約二十年。住居も国内外で都合十九回住居

変遷、更に会社員の赴任形態、独身―家族同伴―単身赴

任の三パターンを国内外其々で体験。公私共に環境の変

化に富んだ六十年間、大病にも罹らず略皆勤で過ごせた

事に感無量。



会員番号 一八八二 廣島 好美



この度、社友会より喜寿のお祝いを頂き誠に有難うございました。

大阪より矢板市に移住して五十年になりますが、その間多くの皆様方と懇意にしていただき、これまで大きな病気一つせず今日を迎える事に感謝申し上げます。

最近、地域行政やシルバー大学校同窓会等々のボランティア活動が多く時間的余裕が無くなりつつあります。出来る限り時間調整を行い、いまさら上達しないものの慣れのためのゴルフ練習や、少しでも体力低下防止のため近くの公園で階段歩きです。

在職中から唯一の趣味である

山岳登山は、山

岳部時代の後輩

たちと一緒に活

動中で、今年も

宿泊を伴う山行

を数回計画中で

す。ゴルフプレ

ーは、ボランテ

ィア活動日程の

合間に楽しんで

います。

以前活動して

いた写真撮影や陶芸は日程的に合わない事が多く一時

休止の状態です。

今後ともよろしくお願い致します。



南アルプス仙丈ヶ岳にて

古希を迎えて

会員番号 四八五三 熊谷 利夫



古希を迎えて、社友会よりお祝いを戴き有難うございました。この十年は、実感として「アツ」という間に過ぎてしまった様に思います。

二〇〇〇年の初めに、亀山に単身赴任、二年延長の六十歳で定年退職、その後五年間は某社勤務、完全に仕事を辞めてから四年になります。

家から「技術棟」の灯りが見え、現役時代の苦労？も懐かしく思われますが、今は健康維持に頑張っているところです。

特に、これっ！といった趣味はないのですが、月四〜五回のゴルフ、速足ウォーキング、器具での各種ストレッチ等、なるべく体を動かしています。家内とは、家庭菜園や温泉地巡りの旅行、家の中の断捨離にも取り組んでいます。

また、たまにはドライブを兼ねて、海のある「福島方面」に、孫の顔を見に行くなど、それなりに、毎日に感謝しつつ、楽しみながら過ごしています。それでもやはり、足腰の筋力が衰えている事を痛感しています。

今後は、野外でのトレッキングや水泳を少しずつ始めて、希望ではありますが、少しでも元気な内に「日光の男体山」「富士山」に一度登りたいと思っています。

また「書斎のゴルフ」という雑誌を読む機会が有り、そこには七十八歳〜八十四歳の方々の日々の練習法やコースの攻略法が載っており、元一般サラリーマンで年間二十回以上エイジシュートを出すと、書いてあり

ました。私も、頑張つて、八十歳前半迄ゴルフが出来一回で良いので、エイジシュートが、達成出来たら最高だと願っています。

今後、趣味の幅を広げる為、社友会・同好会を含め宜しくお願い致します。

会員番号 四〇五四 林 二三二



七十の節目を迎え、少しづつ心身の衰えを感じる此の頃です。

私は五十七才の時、直腸癌の手術を行いました、今日に至っています。

この経験から、体を動かし、汗をかき、ストレス

を溜めない生活をしようと、定年後は、家庭菜園を始め、七年前からは、シルバーに入り、草刈りの仕事を行っています。シルバーでは、配分金の収入があるので、好きな物を購入し、生き甲斐を感じています。

コミュニケーション関係には、自治体やシルバーで少しお世話になって来ましたが、社友会には御無沙汰しています。男の健康寿命に近い七十二才位で仕事を止めた後は、社友会に積極的に参加し、「惚けず、寝込まず」を目標に頑張りたいと思います。その節は、宜しくお願い致します。

会員番号 四一〇四 山口 重一



退職して十年が過ぎ去り、人生成熟の時期を健康で迎えられたこと、家族と周囲の仲間に感謝します。趣味の山登りも在職中からの仲間と続けられ、又、現在は、退職後に始めた公民館活動の水彩画教室にラジボール卓球・写真教室それに、ゴルフと日々夢中になって励んでいます。今までと違う環境の中では、新しい発見や出会いが多くあり生きる励みになります。



尾瀬至仏山を描いた水彩画

これから先も、好奇心を持つて、新たなステージを健康に留意し、豊かな心で新鮮な感情を忘れることなく人生を送りたいと思っています。



八ヶ岳の赤岳頂上にて

会員番号 四二〇一 岩谷 秀勝



シャープに入社したのが二十歳のときでした。あれから五十年、時のたつのは早いもので、爺さんになってしまいました。このたびは古希の祝いをいただきありがとうございます。

人間七十年も生きていますと身体のあちらこちらとガタが来てしまい、そのたびに病院に通い治療しながら頑張っております。平均寿命が伸びた今、千昌夫作詞の「古希祝い」を聞いて、頑張っています。

長生きしてりや 喜寿米寿次々来るよ 祝い事前向き頑張る姿みて 次々来るよ 祝い事前向き頑張る姿みて につこり笑う福の神めでためだの めでためだの古希祝い昔とちがい今の世は 還暦古希はまだ若いみんな働き宝船 実りの秋を迎えたら歌い踊って歌い踊って 古希祝い人生いつも節目には めでたく歌う祝い節生まれて節目に七五三 門松かさね七十年いつの間にやら 一つの間にやら 古希祝いこの歌を聞くと長い人生を生きってきたと感じ取れ、もっと頑張ろうと思います。「古希祝い、千昌夫」とYouTubeで検索すると聴けますので、皆様も聴いてみてください。

さて、私の近況ですが家内が朝昼晩と食事をつくるのが大変なので、昼は安くて美味しいランチ店を探して食べ歩きしています。もちろん、趣味で始めたサツキの手入れは怠りませんが、冬の時期水枯れをおこし五鉢ほど枯れてしまいそうです。

土・日曜は孫の部活の送り迎えや試合を観戦し

楽しんでおり、朝夕は愛犬を散歩に連れていったり、遊んでやったりしております。(どっちが遊ばれているのかはわかりませんが?)

健康維持の為に、大田原市健幸ポイントプロジェクトに参加しております。運動習慣を生活に取り入れ、自分の体のことを調べて不安を解消したり、自分の事は自分ででき、いつまでも自分の足で歩く事を目標にしており、データーを計りながら毎日歩いています。これからも家族が健康で毎日笑顔が絶えない生活がおくれれば良いかなと思っています。

社友会の皆様方これからも宜しくお願い致します。

会員番号 四〇九〇 野中 春夫



光陰矢の如し、定年退職後の十年はあつと言う間に過ぎた気がします。健康で古希を迎えられた事、家族に感謝しています。社友会から幹事さんがお祝いを届けて下さりありがとうございます。

健康面では血圧が少し高めで、月に一回近所の医者に通っていますが、これが、かかりつけ医を持つと言う安心感に繋がっています。

特に心掛けている健康法はこれと言ってありませんが、もともと動き回る事が好きな質なので家庭菜園、庭木や芝生の手入れ、DIY、ゴルフなど体を動かして過ごす事が多いので、これが健康維持に繋がっているのではと考えます。

趣味は今ややっている雑多な事です。体を動かす一方で頭の体操には「好奇心が大切」をモットーに分からない事や気になる事は、都度インターネットを活用して調べています。これもなかなか楽しいものです。

数年前から雑多の仲間入りで熱帯魚の飼育、小仏の木彫りも始めました。

地域との繋がりをもつと持てるようにこの四月から行政区の役員を引き受けました。微力ながら地域に貢献出来ればと考えています。

次の節目に向けて、健康で楽しく充実した生活を送りたいと思います。

会員番号 四五三八 津久井秀一



社友会から古希祝いを頂き有難うございました。私は退職後、実家の手伝いをしながらボランティア活動や旅行などをして日々過ごしています。実家の嘱託社員として黒羽のグリーンハートT&Kヒルズ(旧黒羽スプリングス)で、

週六日、牛の肥育を行っています。春には桜の花が咲き、また、タヌキやキツネ、イノシシ、キジなどが時折り遊びに来たりして、自然環境に恵まれた所で肉体労働をしています。

仕事の合間に大田原交通安全協会

金田支部の事務局長としてボランティア活動を行ったり、友人達に誘われて、旅行、歌謡ショーなどに出かけ楽しんでおります。

最近では五月に大相撲を砂被り席で観戦しました。テレビに映ったようです。

今が一番充実した時なのかも知れませんが、これからも仕事に、ボランティア活動や旅行等に少しでも長く続くよう、また、楽しめるよう健康の維持管理に留意して行きます。

会員番号 四五二七 並木 利雄



今年七十路の春を迎え昨年と変わらぬ、野にはつくしが芽を出し桜が咲き始めました。栃木の地に来て早や五十年。退職し九年の時の流れに身近な人やペットが旅立ち、この老いたる人間も改造されました。

現在は朝の日課の一つに、同年齢の方々と同様に一時閒位のウォーキングをして体力の温存に努めている状況です。

このウォーキング中で知り合った農家の人と世間話をしている中で、現在住

んでいる小さな団地の近くを旧東北線が走っており、又近くには古田の駅舎が有ったとの事。現在は宇都宮駅の北側踏切からすぐカーブして岡本駅へ向かっているが、旧東北線は真直ぐに走っていたとの事で、現在橋桁の一部が残っているので、一度ウォーキングを兼ねて見に行つてはとか、苗・野菜の育て方の話等々の農業雑学を教えて貰っています。

本人はその気無し・・・毎日が休日なのに雑用に追われた日々を過ごしており、こんな暮らし方も健康保持の一つかもと考えております。

現況、栃木事業所の変動から、今後社友会の行方がチョット心配ですが、皆様方の活躍をお祈り致します。

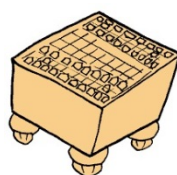


旧東北線の橋台跡

シックの名曲や歌謡曲、小学生唱歌等を歌ったり、JAの将棋部でアマの高段者と対戦したりで楽しんでいます。



シャープでの約四十年は①天理での製品開発 ②栃木でVTR製品化 ③三重で液晶工場での設備管理と機械科出として充実した会社生活だったと思います。退社後は、健康の為、水泳を始めたり、合唱団でクラ



また、あの震災で原発事故があった影響で、近くにあるアジア学院で放射能測定のアジア学院はアジア、アフリカから学生が、またヨーロッパ、アメリカから多くのボランティアが来ており、昼食時は日本の国とは思えない国際的な雰囲気の中で仕事をする機会を得ました。アジア学院の卒業生を訪ねるツアーが行われており、ネパール、タイ、ラオス、フィリピンへ行き現地の生活を味わう経験もしました。このような生活を過ごせたのも、会社生活を通じて多くの方々にお世話になったお陰だと感謝しております。

会員番号 四二三七 藤本 渉平



この度、社友会より古希のお祝いを頂きありがとうございます。無事に古希を迎える事が出来、ここに在職中の社員の皆様方、そして家族に感謝致します。

退職してから昨年十二月で十年が経ちました。現役時代はSEKに所属し、大半が群馬県でエンジニアの仕事をしていた為、社友会栃木支部の方々との面識が少なく残念な状況です。

現在は現役時代から群馬県桐生市に住んでいます。桐生市は赤城山の麓でもあり、矢板市同様に景色の良い所です。車に乗れば一時間程で赤城山大沼まで行くことが出来ます。



赤城山大沼の景色

思い起せば退職間際の時、無趣味だった私は「退職後には、あれやこれや」と計画したのですが・・・今となつては夢計画だったですね。計画倒れであつた間に月日が経つてしまいました。

健康面に関しては、昨年三月に胆のう炎で摘出手術入院をしました。長年患っていたもので、これで胆石での苦痛が解消出来ました。

近頃では、地域近隣の皆さんとの交流も徐々に増え、色々の催しに参加しており、これからも地域貢献して過ごしていきたいと思っています。

社友会の皆様方これからも宜しくお願い致します。

会員番号 三九八八 金子 真司

幹事コーナー

「二班幹事を担当して」

第二班 中島 寛



昨年四月に二班（宇都宮西南部）の幹事を担当し、早くも一年が過ぎてしまいました。担当間もない五月には自らが突然脳梗塞を発症し、二年の任期が務まるか不安を覚えたものです。幸い処置が早かったため右半身の麻痺も入院期間中に消え、後遺症も残らず六月の幹事会には出席する事ができました。

この時の教訓として、「身体に今迄にない異変を感じた時」は、昼夜を問わず躊躇せず救急車を利用する事を強く思いました。

さて、これまで健康と老化防止のつもりで写真やマジックを楽しみ、地元町内会の活動もやってきましたが、社友会の行事には関心はあるものの遠方との理由で殆ど参加する事はありませんでした。しかし二班幹事を受けるにあたり、会の行事以外で何か繋がりを持ちたいと思ひ麻雀同好会に入会させていただきました。それ以来「飲まない」「吸わない」「賭けない」をモットーに行われる定例会には極力参加し楽しんでます。幹事会も昨年五月を除いて欠席はなく、往復二時間の運転も苦になりません。

任期はあと一年弱ですが、これからも迷惑をかけないよう幹事としての役目を勤めてまいりますので、よろしく願います。

「六班の幹事になつて」

第六班 岡崎 忠



ら益々発展すると期待しているところですが、現在の会員は十七名です。

社友会の幹事会に出席し幹事の役割が、一応理解出来た状況です。役員の方々の活動の大変さに驚きと、いろいろの対応に感謝している所です。

今迄は、社友会の活動には参加せず年会費を納めるだけでしたが、幹事に成り、幹事会への出席、会員へのいろいろの連絡等、一連の社友会に對してのパイプ役を務めるチャンスを大切に遂行して参ります。

会社現役時、退職後も会員の方々のご自宅に行く機会はありませんでしたが、配布資料等、残された期間出来る限り、手配り配布し会員との交流を深めて行きたいと考えていますので、今後とも宜しくお願い致します。



旧片岡駅舎



新しくなった片岡駅舎

昨年より、六班の幹事担当になりました。JR片岡駅が中心となる片岡・越畑・安沢・乙畑・大槻・石関が私の担当地域です。最近、片岡駅改装も完了し、西口も整備され利便性も向上し、これから

「保護犬の世話と野菜作り」

第十班 徳永 研伸



二〇一七年四月より富田・鹿島町地区の第十班幹事役を担当させていただきました。現在、会員十三名の方々が住まわれております。二〇二一年に定年退職後、暫くはのんびり過ごしていましたが、ボケ防止と体力維持の為に次の事を始めました。



一つは、栃木県動物愛護指導センターで保護犬を譲り受け飼いはじめました。運動不足解消とまではいきませんが、毎日二時間程度の散歩を続けています。保護犬の為か、とても臆病で人の声、車の音を怖がるので、人通りを避けて矢板市の西側を流れる中川沿いで川崎小学校・城の湯・西小学校校近辺を季節の移り変わりを楽しみながら歩いています。

次に、狭いながらも畑を借り、四季折々の野菜作りを楽しんでいます。初めの頃は失敗も多くなかなかうまく出来ませんでしたが、近くの農家の方に教えていただきながら、少しずつ思うような収穫ができるようになりました。ご近所にも差し上げる事が出来るようになりました。手間を惜しまず手入れをすれば、それなりに応えてくれると実感しています。「おいしい」と喜んでもらえるのを励みにこれからも、毎年一つは新しい種類の野菜に挑戦し家庭菜園を続けたいと思います。

幹事役も二年になり、社友会の行事にもっと参加したいと考えております。これからもよろしく願います。

支部ホームページのあゆみ

ホームページ管理担当

副支部長 山本東洋治



栃木支部ホームページは平成十九年十二月二十五日のクリスマスの日開設し、一般公開してから現在十一年目を迎えています。設立当初は公開情報が多くなくホームページの体裁を整えるのが難しい状況でしたが、公開後十ヶ月で閲覧者数が一万回を超し、現在では十七万回を超えて順調に推移しています。ホームページ開設当初より、支部活動状況は逐一ホームページ上に掲載し、これらの過去情報は現在に於いても全て見られる様になって居り、何度でも振り返って見る事が出来ます。

今後も掲載データは、蓄積して行く予定です。ホームページを公開してから十ヶ月時点で閲覧者数一万回となり、その当時の情報量は五・八七MBでした。十一年目を迎えた現在では三・二GB超で、実に六百倍を超える情報量に拡大しています。

またホームページ開設以前に発行された支部会報「日光」創刊号から二十一号は印刷用の原稿が、社友会室に保存されていましたが、冊子形態ではなかった為、簡単に見る事が出来ませんでした。そこで何とかホームページで見える事が出来ないか？と云う要望が有る事と、懐かしい活動の様子が伺える貴重な資料でもある事より、OCRを導入してデジタル化へ数ヶ月間掛け

て取り組み、ホームページ上に掲載することが出来ました。依って現在では、栃木支部会報の全巻を簡単にホームページ上で閲覧出来るようになっていました。

更にホームページの閲覧回数を増やす為の施策としては、動画画面を大きくしたり、ゴルフコンペ報告書トップの集合写真の顔を拡大したフラッシュ動画を取り入れたり、賀詞交歓会、BBQ懇親会、定期総会、秋の懇親バス旅行、等は動画と共にスナップ写真を可能な限り多く掲載し、従来のサムネイル縮小版から直接閲覧できる拡大版を掲載することにより操作性向上も図り、会員皆さまの様子が窺い知れるように努めて来しました。

次に各種支部活動の参加者募集の呼び掛けと、これらの活動への参加者登録もホームページの登録画面より皆様が直接入力して登録出来るようフォーマットの導入を平成二十八年から始めました。各種支部活動への参加は、全てこの登録画面より登録できますので、社友会会員の皆様、今後とも活用をお願いします。

平成三十年は栃木支部設立三十周年の節目でもあり、今迄に行ってきた栃木支部活動全体を抽出して表にまとめ「栃木支部三十年のあゆみ」として掲載しました。

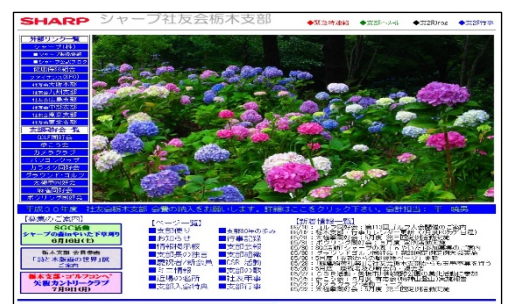
ホームページ掲載に当たっては、ホームページ委員会の会合の中で、提案やアドバイスを頂いた内容を逐一反映させ、見易さや内容の充実に努めています。

ホームページ委員会は現時点で五十六回実施しましたが、今後もこの委員会を継続し、皆さまに一層見てもらえる様、改善に努めて行きますので宜しくお願い致します。

【設立当時の様子は、支部会報「日光」二十一号をご覧ください】



1万回アクセス時画面 (H20. 10)



最近のトップ画面 (H30. 6)

新入会員紹介

(平成二十九年十月一日～三十年三月末 入会者)

会員番号 六六三〇 坂本 達明



今回シャープ社友会栃木支部に入会させていただきましたことになりました。厳しい経営環境の中で、昨年十二月にシャープをどうにか定年退職できたことにまず感謝しております。私が退職を迎えた直後にシャープが東証一部に復帰できたこと大変喜ばしいことと存じます。しかし多くの仲間が、やむを得ずシャープを去ったことを心に止め、更なる業績回復を期待しております。

社友会の諸先輩の皆様、今後ともどうかご指導のほどを宜しくお願い申し上げます。

一般投稿コーナー

「私と山登り」

会員番号 六二五六 梅原 浩



沢登り時のスナップ写真

私が山登りを始めたのは、四十年余り前の事、シャープに入社して暫く経ってからの事でした。田舎町で生まれ育った私にとって初めて暮らす大都会・大阪、特に人の多さに軽いストレスを感じたのかもしれないが、休日は自然の中で過ごしたい、という思いが日に日に強くなり、勤労者の山の会に入会します。以降、休日には京都北山や六甲山、比良山など近隣の山々を歩き、夏や秋には北アルプスなどへも遠征しました。そんな私に大きな転機が訪れたのは、昭和五十三年の春、ビデオを立ち上げるために栃木に転勤が決まった時の事。その準備で初めて降り立った矢板、そこで私を迎えてくれたのは真っ白な雪を纏った高原山でした。その光景に感動し、転勤と言う不安を吹き飛ばしてくれたのを今でも覚えています。

翌年の二月、先輩夫婦と共に、積雪期の高原山に挑戦、前山から釈迦ヶ岳に登ったのが、初登頂となりました。これを機に、私の山登りは関西から栃木の山々

へと変わり、以降も日光や那須連山、高原山などを家族と共に楽しみます。

その後、地元山岳会に入会。ここで、沢登りやロープワーク、山スキーなど新たな技術・山行形態などを覚え、山のバリエーション、活動の山域も増えました。更にその当時の日本百名山ブームに乗り、仲間達と共に百名山に挑戦。活動範囲は関東から全国へと広がります。

記念すべき百座目は、世界文化遺産に登録された年に女房と登った富士山。二十一歳の時に槍ヶ岳を登ってから三十八年目の事でした。丁度、山開きと重なった事もあり山頂で取材されていた日経新聞の記者にインタビューを受けた事が今でも忘れられない思い出となっています。お鉢巡りをしながら、利尻山から屋久島まで、百名山・百座を踏破した思い出が走馬灯の様に駆け巡り、自然と目頭が熱くなっていました。



百座目の富士山頂上で妻と記念撮影

また、シャープに在籍中、年間の山行回数は多い年でも二十回前後でしたが、退職後は山に登る機会もぐっと増えます。その前後では二倍以上に増えたでしょう。うか。いつの間にか、一年で四十〜五十回以上も山々を歩く様になっていました。四季折々に咲く花々の美しさやその時々魅せてくれる自然の景観に惹かれ、年間を通して、山々の旬を楽しむ様になります。特に若かった頃には体力面を主として対応して来た山登りから、月日を重ねるにつれ、安らぎや癒しを求める、それに替って行った様にも思えました。

更に直近では高原山を中心に県内の山々を仲間達と登り、昨年五月には不動岳で栃木百名山を完登しました。共に栃百を目指した仲間達とお祝いの山行をしたのも、また楽しい出来事でした。



2017年5月不動岳で栃木百名山を完登！！

今年の四月からは、自然公園指導員を拝命し、大好きな高原山を中心に活動中。年を重ねるにつれ、体力も少しづつ・少しづつ落ちて来ましたが、山への思い・山との関わりは深まるばかり。これからも近隣の山々を、山仲間達と一緒に楽しんで行きたい、と思っています。

パソコンクラブ

Personal Computer club の歩み

Established in 2001

2001 (H13) 年 2 月 “デジタルデバイドの負け組にならない、ITから疎外されないようにしたい” との想いから、有志が集い三友宏章氏が初代会長に就任し「メビウスクラブ」が発足。



初代: 三友氏 2代目: 仲谷氏

社友会室にて (2002 年頃)

2005 年: 2代目会長に仲谷輝郎氏就任
2009 年: クラブ名称を「パソコンクラブ」に改称
2013 年: 3代目会長に佐藤龍雄氏就任
2017 年: 4代目会長に佐藤壽行氏就任

PCの知識と技量を深める場として毎月定例会と勉強会を行っています。最近では、パソコンに加えてスマホなどデジタル機器の話題も扱っています。

定例会
毎月
第1水曜日

AM 10 時～12 時

勉強会
毎月
第3水曜日

AM 10 時～12 時

入会案内

年会費 2,000 円 初心者大歓迎！
(新規入会者初年度のみ 1,000 円)

問い合わせ先

会 長 佐藤 壽行 0287-44-3377
事務局 永橋 肇 0287-43-5199

定例会/勉強会の見学は何時でも歓迎です

面白そうだね
一緒に行こう
よ！！

そだねー！

いつでも
見学いい
らしいよ

会員の紹介

那須野が原ファーム

高萩さん
PC クラブと歩
こう会で
活動中

古市副会長
クラブの皆さ
んと楽しく
活動中

佐藤龍雄副会長
地域活動の資料
作りに応用できた

安東副会長
脳の活性化、麻
雀で連覇できた
のもこの効果？

津田会計
会計の資料
作りに挑戦
中です

若い磯島さん
クラブ活動と仕事
の両立元気で
頑張っています

廣田さん
豊富な経験で
会をリード
します

佐藤壽行会長
当クラブの活動
は何に役立ち
ましたか

PC クラブ事務局の永橋です
会員の紹介を
します

青木さん
副支部長・会
報編集長と多
忙の日々です

2018.05.09 定例会撮影

その他の会員

浦川 正司

徳田 浩

平山 勝

福本 英之

山崎 和義

(総会員数15名)

新入会員募集中

ゴルフ同好会



◇ 同好会のあゆみ

1995年10月17日 矢板CCに於いて6名が参加して、第1回社友会コンペが開催されました。95年度は3回、96年～98年度は4回、99年度は7回のコンペが開催されました。2000年度以降は、年5回の実施が慣例となり今年度で23年目に入りました。今年3月に実施された第111回コンペまでに、1回だけ参加した人を含め延べ147名、累積参加人員は3,731名を数えました。残念ながら2016年7月以降、新たな会員が入っておらず2014年11月の第95回コンペの参加人員66名をピークに年々、参加人員が減少する傾向にあります。

◇ 最近の活動状況

会員数は、4月時点で88名となり、毎回50名前後の参加で、親睦を深め活発に活動しています。同好会では、新しい人からベテランまで会員相互の親睦と健康増進を目指し、楽しいゴルフの推進を図って参ります。

定例コンペ	第110回	第111回	第112回
開催日	11月10日(金)	3月30日(金)	5月15日(月)
開催コース	千成GC	喜連川GC	大日向CC
参加人数	54名	47名	44名
優勝	高田 進 (71)	山口英吉 (72)	野澤英男 (71)
準優勝	生嶋良幸 (73)	河野順一 (73)	高橋 勉 (71)
3 位	河越泰博 (74)	生嶋良幸 (76)	白川 寿 (73)
4 位	前野雄二 (74)	中野武久 (76)	松内幸男 (74)
5 位	安藤八郎 (74)	海瀬元久 (76)	川村 昇 (74)
ベストグロス (コース毎)	清水正明 (79)	生嶋良幸 (84) 徳田義文 (82)	河越泰博 (85)

◇平成30年度 今後の定例コンペ日程

コンペ	予定日	備考
第114回	18年9月	別途案内
第115回	18年11月	別途案内



第112回入賞者



第112回大日向コンペ集合写真

《 新 会 員 募 集 》

- * 入会金 : 無料
- * 年会費 : 無料
- * 定例コンペ : 年間5回実施 5月、7月、9月、11月、3月
- * 連絡先 : 幹事 今泉正男 ☎ 0287-44-1073
- eメール : m_jed_imaizum@yahoo.co.jp

歩こう会

◇ 歩こう会のあゆみ

- ・ 1999年10月に第1回定例会を8名の参加者のもと「県民の森～尚仁沢」で実施して以降、年平均6回の定例会開催を途切れることなく続け、今年で19年目の活動期に入りました。
- ・ 2006年8月には34名が定例会に参加という隆盛期を迎えた時期もありましたが、19年間で118回の開催、延べにして2,395名（平均して20名/回）に参加頂き感謝しています。
- ・ 定例会でも栃木県内の山々は殆ど登り尽くした状況になって、2013年以降は長野県を始めとして、県外の山へも行動範囲を大きく広げ出掛ける機会が増えている状況です。
- ・ 会を牽引する歴代の会長は、中村茂、尾崎亘宏、松本隆（敬称略）が務め、現在の荒田で4代目。内3名が会員相互の支援もあって「栃木百名山」完全踏破を達成しました。
- ・ 登山計画は参加者の安全第一を念頭に立案しており、役員も含め行ったことのない山の場合など有志会員もしくは役員が事前に登山コースを下見する事を徹底しています。

◇ 最近の活動状況

・ 定例会：安戸山 （4/21）

・ 有志会：鎌倉岳 （4/12）

・ 有志会：鳴神山 （5/15）



◇ 30年度 定例会 年間計画

定例会	実施月日	行先	概要・ポイント
第117回	H30年 4月21日(土)	栃木県那須塩原市 安戸山	昭和天皇も登られた山
第118回	6月12日(火)	栃木県日光市 高山	千手ヶ浜のクリンソウ
第119回	8月24日(金) ～8月25日(土)	山形県 庄内町 月山 (二日目は蔵王方面観光旅行)	残雪と高山植物を楽しむ 日本百名山
第120回	10月10日(水)	栃木県 那須町 中の大倉尾根	那須の紅葉を楽しむ
第121回	11月12日(月)	栃木県 足尾町 中津川溪谷	日本のグランドキャニオン
第122回	H31年 1月23日(水)	茨城県 日立大宮市 熊の山	初詣登山と食事会
第123回	3月26日(火)	栃木県 茂木町 焼森山	ミツマタ群生地を散策

◇ 29年度 有志例会の主な足跡

- ・ 大佐飛山、袈裟丸山、荒海山、庚申山、苗場山、白馬岳、黒部溪谷縦走など、延16回実施済

◇運営 組織：【顧問】松本 隆 【会長】荒田 英治 【副会長】矢板 利一 【会計】前川 健治
【会計監査】赤塚 忠明 【幹事】玉木 光一、滝田 勝美、梅原 弘二

◇会員の募集：歩こう会役員まで連絡ください。年会費2,000円（10月以降の入会は1,000円）
◇現状会員数：平成30年6月現在 登録会員数 28名（家族会員含まず）

●連絡先 荒田 英治 TEL 0287-37-3298 / 090-1121-1522
e-mail : earata@olive.ocn.ne.jp

カメラクラブ

◎ 体験参加者募集：

8月 8日（水）撮影会

9月 12日（水）定例会

下記、連絡先へ

申し込みを

してください。



◇カメラクラブのあゆみ：

- ・1991年4月 写真ビデオ同好会発足、2000年5月カメラクラブ発足、日光6号からカメラクラブ紹介を記載。
- ・幹事（世話役）：徳田 浩氏 10年、田中 勇氏 8年、只友将弘氏 11年、志賀 実氏 13.3年、大屋 6.5年 継続中。

◇行事遂行状況

- ・1月14日 合同新年会・作品講評会を実施
- ・2月14日 撮影会：県民の森で氷柱を撮影
- ・3月14日 定例会を実施・来期の計画を立案
- ・4月11日 定期総会&定例会を実施

◎ 4月11日定例会

- ・リハビリ中の田中氏
- ・新会員の荒田氏を迎え
集合写真を撮りました。
これからも楽しく集合！

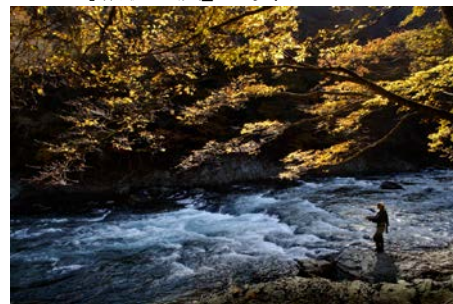
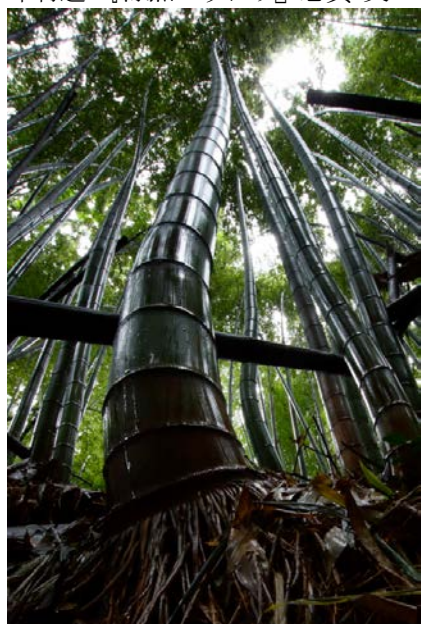


◇第21回『しもつけ写真大賞』入選入賞

準特選：『漆黒のうねり』志賀 実

入選：『ダム湖の哀歌』只友将弘

入選：『惜秋の溪』志賀 実



入選：『避暑地にて』大屋信幸

入選：『華厳に宿る』大屋信幸



◇写真コンテスト13点入選、9点入賞

- | | | | |
|---------------------------|------|---------------------------|------|
| ・第31回高根沢観光写真 推薦『スタートダッシュ』 | 田代宏明 | ・月刊フォトコン9月号 銀賞『春の雪』 | 貝増弘行 |
| ・月刊CAPA 12月号 入選『小さな恋人』 | 貝増弘行 | ・2017日光フォトコンテスト 入選『寂域に入る』 | 志賀 実 |
| ・第16回 佐久山写真展 市議会長賞『自然観察』 | 志賀 実 | ・月刊CAPA 2月号 入選『冬支度』 | 大屋信幸 |
| ・第16回 佐久山写真展 優秀賞『琵琶池の春』 | 田代宏明 | ・第36回矢板の四季 推薦『夜桜愛でる』 | 志賀 実 |
| ・第36回矢板の四季 鉄道賞『秋たけなわ』 | 大屋信幸 | ・第36回矢板の四季 佳作『初雪の朝』 | 只友将弘 |
| ・第36回矢板の四季 佳作『岩戸の舞』 | 田代宏明 | ・H29年度ふるさととてぎ 入選『春光奏でる』 | 田代宏明 |
| ・風景写真2018年3-4月号 佳作『農小屋の春』 | 田代宏明 | | |

◇入選、入賞の情報を頂いた作品はシャープ社友会 栃木支部ホームページに掲載しています。

◇平成30年度活動計画 ・定例会は13時～15時、城の湯ふれあい館、趣味の間で行っています。

実施年月日	活 動 内 容	実施年月日	活 動 内 容
H30年 4月11日	カメラクラブ総会・定例会	H30年 10月17日	合同撮影会：福島方面・紅葉撮影
5月 9日	撮影会：八方ヶ原方面・新緑撮影	11月14日	定例会：基礎研修、作品の講評
6月10日	合同講評会（フォトクラブ、写真教室）	12月12日	定例会：基礎研修、作品の講評
7月11日	定例会：基礎研修、作品の講評	H31年 1月13日	新年合同講評会（フォトクラブ、写真教室）
8月 8日	撮影会：県民の森・宮川溪谷	2月13日	撮影会：東古屋湖、冬景色撮影
9月12日	定例会：基礎研修、作品の講評	3月13日	定例会：基礎研修、作品の講評

《 新会員募集 》 ◇会員数：10名 ◇年会費： 3,000円

◇連絡先 幹事： 大屋信幸 TEL：0287-43-5806 e-mail: n0y8a@eagle.ocn.ne.jp

カラオケ同好会

< 入会申込・問合せ先 >

会 長： 福永 勝行
(TEL) 0287-44-1109
事務局： 青木 正和
(TEL) 0287-44-1332

♪♪ 同好会のあゆみ と カラオケの効用 ♪♪

社友会栃木支部は設立 30 周年を迎えましたが、カラオケ同好会は平成 20 年 5 月に設立し、現在 11 年目、まだまだ目指す頂上には、手が届きそうで届きません。会員一同、前を向いて切磋琢磨、奮闘中です。当初は男性のみで始まりましたが、その後、奥様や女性会員が加わり、歌のみならず、井戸端会議に花が咲き、家庭的な団樂の場となりました。OB会は元社員だけのものではありません。貴男を永年支えてくれた奥様、ご家族も功労者です。是非、日頃の鼻歌を披露しては如何でしょうか。歌は健康寿命のみならず、認知症予防にも良いと言われています。上手下手は二の次、1日1曲で長生き出来ます。正しく歌うポイントは、腹式呼吸を心掛けて目や口を大きく動かして自分に合った曲を好きなペースで歌い続けましょう。

♪♪ 定例会で利用したカラオケ施設 ♪♪

() : 利用回数

- ①カラオケ BanBan (62) ②コリーナ矢板 (48) ③シダックス西那須野店 (2)
④カラオケ喫茶「しま」(2) ⑤スナック「友」(1) ⑥大田原スポーツランド (1)



6月12日 カラオケ定例会参加者

♪♪ 定例会活動状況 ♪♪			
実施場所：カラオケBanBan			
実施日	参加者	トップ賞	曲 名
1 / 9	9 名	笹 原	紅 の 舟 唄
2 / 13	10 名	津 田	柿の木坂の家
3 / 13	10 名	磯 島	いごっそ魂
4 / 10	6 名	津 田	一本刀土俵入り
5 / 8	7 名	津 田	星影のワルツ
6 / 12	8 名	郡 司	南国情話(替歌)

定例会で熱唱中の会員



6月12日 BanBan での定例会の様子



♪♪ カラオケ好きの皆さまへ ♪♪

カラオケ採点機能で満点にチャレンジしてみませんか！
まだ、満点が出た事は、ありません。

『 30年度の最高得点 』

94点 / 100点満点



新規会員募集中!!

< 同好会会員 >								
福永勝行	青木正和	城本 昭	古市正昭	村上五十六	島田次秀	三堂地時臣	手島正典	津田 功
安藤八郎	佐藤壽行	磯島和美	岩谷秀勝	津久井秀一	郡司忠一	徳田 浩	浦川正司	細川美生
福本英之	小倉麗子	古市和子	泉口トシエ	笹原幸子	大島栄理子	村上サダ子		《計》25名

グラウンド・ゴルフ同好会



同好会のあゆみ

2013年8月末グラウンド・ゴルフ同好会は、矢板地区でグラウンドゴルフを楽しんでいる社友会員が発起人となり、OBの親睦と健康維持、更に地域住民との良好な交流を育むことを目的に同好会発足に向け活動を開始しました。

同年12月シャープ社友会へのクラブ設立報告に伴い、従前のクラブ名「GGシャープOB会」を正式名の「グラウンド・ゴルフ同好会」に改め、正式に発足。これまで、週3日の練習と競技大会などで会員の技量向上に努める傍ら、毎年5月から10月の期間には会員の協力の下、芝刈りや雑草処理、大木の害虫駆除などグラウンドの周辺美化活動も行ってきました。

2018年4月現在、社友会関係会員は15名(地域住民会員を含め総勢54名)で、同好会の定例競技大会の成績は下野新聞や社友会ホームページに掲載されています。2013年末から初代会長として福本英之、2015年末から2代目会長として後藤謙輔が務めています。(敬称略)

これまでの競技大会実施状況

年	競技大会	参加延べ人数
2014 (平26)	記念大会 2回(設立、創設) 定例大会 4回(第1～第4)	47名 119
2015 (平27)	記念大会 3回(創設2、感謝) 定例大会 8回(第5～第12)	121 304
2016 (平28)	記念大会 3回(創設記念、感謝、設立) 定例大会 3回(第13～第15)	112 125
2017 (平29)	記念大会 3回(創設記念2、感謝) 定例大会 5回(第16～第20)	97 151
2018 (平30)	記念大会 - 定例大会 3回(第21～第23)	- 99



平成30年5月 第23回 定例大会

●2018年の活動状況

[前回の会報掲載以降の大会]

大会名	第21回定例大会	第22回定例大会	第23回定例大会
開催日	H30年2月13日(火)	H30年3月16日(金)	H30年5月16日(水)
参加者数	35名(男23、女12)	29名(男19、女10)	35名(男22、女13)
優勝	吉澤実(+3) 77 関谷スミ子(+4) 76	藤原勇(+7) 79 渡辺玲子(0) 77	吉澤実(0) 64 栗原智子(0) 78
準優勝	石塚忠(+2) 78 櫻井義子(+4) 78	室町英喜(+3) 79 阿部涼津子(+1) 79	大町英雄(0) 67 阿部涼津子(0) 80
第3位	須藤利夫(0) 78 秋山文子(0) 82	斎藤敬一(+2) 80 道畑計子(0) 81	相馬芳弘(0) 71 吉澤満子(0) 81
競技方法	32ホールストロークプレイ(8ホール×4ラウンド)NETトータル、 ()内の数値は付加ハンディキャップ		



特報!! 2018年6月1日矢板市で行われた「第13回栃木県グラウンドゴルフ協会ペア大会」にて社友会同好会の近藤靖浩会員ペアが優勝、道畑一三・計子夫妻会員ペアが3位の好成績を上げ表彰されました。また、道畑ペア組はフラチナ賞(オール2打又はホールインワン含む)も獲得されました。

[平成30年度
練習と競技大会
の予定表]

2018		8月					
日	月	火	水	木	金	土	
			1	2	3	4	
5	6	7	8	9	10	11	
12	13	14	15	16	17	18	
19	20	21	22	23	24	25	
26	27	28	29	30	31		

2018		9月					
日	月	火	水	木	金	土	
						1	
2	3	4	5	6	7	8	
9	10	11	12	13	14	15	
16	17	18	19	20	21	22	
23	24	25	26	27	28	29	
30							

2018			10月			
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

■ : 練習日(月、水、金又は月、火、金)

■ : 競技大会

グラウンドゴルフはルールも簡単、特別な技術も不要の生涯スポーツです。新規会員募集中!

年会費: 1200円

入会金: 0円

入会申込先: 後藤謙輔 TEL: 0287-37-0368



健康麻雀同好会



◇ 同好会のあゆみ

健康的な麻雀を通じ、頭脳と指先の活性化による老化予防と会員相互の親睦を図る場としてゲーム感覚で和やかな競技を楽しむことをモットーに、2015年12月、会員13名で同好会を発足し安東氏が会長に就任。翌年1月、会を『健康麻雀会』と命名し、月例競技会を開始。その後、2016年4月から年間単位での総合成績制をスタートさせました。

それから丸2年が経過し、会員数も2018年4月現在15名となり、会長も中山氏に引き継がれています。競技会は毎月1回、第3金曜日に実施しております。健康麻雀に興味のある方は事務局にご連絡ください。

◇ 年間成績

2016年度および2017年度の上位入賞者は以下の通りで、安東初代会長が2連覇されています。

年度	順位	氏名	総合得点	特記事項
2016年度	第1位	安東	1776	月例会9回の内、1位2回、2位4回、3位1回入賞
	第2位	佐藤	1206	2回の役満(国士無双、四暗刻)を経験
	第3位	川村	974	月例会の1位が3回
2017年度	第1位	安東	4424	月例会の1位が7回、「一得点」は1回のみ
	第2位	川村	3362	月例会の1位が3回、「一得点」は1回のみ
	第3位	岩村	2609	4月例会で「1321点」を獲得

◇ 最近の成績

2018年1月～6月のトップ3の成績は以下の通りです。

定例競技会	第24回	第25回	第26回	第27回	第28回	第29回
開催日	1月19日	2月16日	3月16日	4月20日	5月18日	6月15日
開催場所	ハッピーハイランド矢板自治公民館(通称:ハッピー会館)					
参加人数	12名	13名	12名	13名	12名	13名
< 総合順位 > ()内数字 ; 獲得点数						
第1位	佐藤 (721)	川村 (668)	安東 (735)	岩村 (592)	岩村 (492)	山口 (771)
第2位	鈴木 (327)	佐藤 (234)	青木 (591)	中山 (330)	佐藤 (309)	川村 (658)
第3位	安東 (181)	千葉 (187)	川村 (462)	福田 (305)	鈴木 (280)	中山 (308)



競技を終えて勢揃い
(2018年6月定例会)



2017年度総合上位
2位川村氏 1位安東氏 3位岩村氏

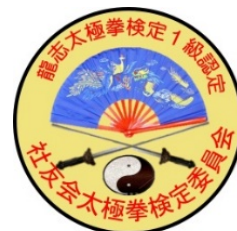


広々とした会場での競技風景

《 新 会 員 募 集 》

- * 入会金 : 1,000 円 * 年会費 : 1,200 円 【毎回の場所使用料 : 100 円～300 円/人】
- * 定例会 : 毎月1回(第3金曜日)、場所:ハッピー会館(ハッピーハイランド矢板自治公民館) ほか
- * 連絡先 : 事務局 佐藤龍雄 ☎:0287-43-0425 eメール:sato-t8@bj8.so-net.ne.jp

太極拳同好会



認証バッジ

** シャープ社友会栃木支部 太極拳同好会 **

社友会栃木支部設立30周年おめでとうございます。
太極拳同好会もこの夏で発足2年半となりました。平成28年1月に10名でスタートしました。
練習場所も、矢板市の公共施設から始め、現在、大田原市の公民館で定着しています。

シャープと太極拳との出会いは古く、平成19年からスポーツCで栃木健康管理室主催の太極拳教室が始まりで、従業員の健康管理から始まりました。スポーツCが廃止された23年度まで講師をしていた方が、現在の講師でシャープの太極拳教室の歴史は長いです。

現在、社友会太極拳同好会は社友会会員とその奥さま、地域の方を含め、20人で活動をしています。社友会会員の健康管理を担える同好会として活動していきます。

◎ 1/f ゆらぎ呼吸法で体内リズムに同調、快感と安らぎを堪能 ◎

●体を支える力 ●足を上げる力 ●体のバランスを保つ力

★★ 呼吸法で自律神経を整え、ストレス解消してアンチエイジング ★★

- ◎金曜日は他教室との合同練習を実施、自己都合に合わせた練習が月・金で選べ、週2回も出来ます。
- ◎練習会はカンフー基本功で筋トレし、簡化24式太極拳、揚式太極拳でゆっくりセレクトニン優位で練習。
- ◎老化防止として、ヨガに似た真向法で体の柔軟性を保ち、ケガをしない体、若さと健康を保っています。
- ◎太極拳入門・初級の演武検定に挑戦することで、自分に自信が付き、後輩の方への指導にも貢献。

社 友 会 会 員 名 簿					
廣田 哲男	才津 宣義	青木 正和	山本東洋治	辻 勉	齊藤 順一
佐藤 龍雄	増田 武司	鈴木 光典	矢板 利一	黒川 健一	津田 功



“大田原的那須野が原ファーム”での野外太極拳と検定受講者の認定書授与風景



協力: 龍志なでしこ会

講師: 廣田 哲男

☎ 070-4315-5330

【入会申込・問合せ先】

会 長 : 山本 東洋治

会 計 : 齊藤 順一

事 務 局 : 才津 宣義

(TEL) 0287 - 29 -1567

【入会案内】

- ・ 練習場所 : 大田原市野崎研修センター
- ・ 練習日時 : 原則的に毎週月曜日午前10時～12時
- ・ 服 装 : ジャージ等、動きやすいものを着用する
- ・ 履 物 : 室内用シューズ(個人で持参)を使用する
- ・ 講習料 : 1000円/月
- ・ 入会方法 : 入会希望者は事務局迄連絡下さい
- ・ 練習用剣扇は貸出しします。★新規会員募集中!!

ボウリング同好会

当同好会は平成29年1月に発足し、5月現在、会員数は28名(会員20名、客員8名)となり、親睦と健康増進を目的に活発に活動しています。
気軽にできるスポーツですので、社友会会員の皆様、入会して楽しんでみませんか！！

< 活動状況 / 競技結果 >

定例会は毎月1回、原則として第4木曜日午前10時より王冠ボウル(大田原)にて競技会を開催しています。

定例会	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回
実施日	12/21(木)	1/25 (木)	2/22 (木)	3/22 (木)	4/26 (木)	5/24 (木)
優勝	細小路 (0)	小林 (25)	佐藤 (30)	細小路 (0)	渋井 (-10)	野中 (25)
準優勝	山口 (-10)	矢板 ^ニ (30)	磯島 (35)	千葉 (20)	毛川 ^ス (55)	櫻井 (15)
3 位	千葉 (-30)	城本 (30)	渋井 (0)	青木 (30)	佐藤 (0)	磯島 (15)
参加人数	16	15	15	15	17	17

()内の数字はハンディキャップ

< 競技方法 >

3ゲーム総合得点によるハンデ戦。第3回定例会より1位～3位および特定順位の方に賞品を贈呈しています。1位、2位、3位は、-30、-20、-10のハンデを次回以降累積することとし、参加者全員に、できるだけ公平に賞品が渡る様に配慮しています。ハンデ累積は12月迄とし、翌年1月に前年のハンデなし成績を基準として再設定します。第13回定例会(1月)にハンデをリセットしました。また、本年度より1位の方にボウリングシューズを贈呈しています。



第 16 回 定 例 会 参 加 者



細小路会員



小林会員



渋井会員



野中会員



佐藤会員

12月～5月 優勝者

新会員募集中！！

入会金 / 年会費 : 無料 定例会参加費 : 1000円 (ゲーム代・貸靴代)

連絡先 : 【事務局】 千葉 守 ☎ : 090-4618-4141

E-mail : zweiimapril@kra.biglobe.ne.jp

栃木支部 賀詞交歓会

平成30年最初の行事である「栃木支部・新春賀詞交歓会」は1月14日～15日、ホテルサンシャイン鬼怒川にて、お二人の来賓を含む総勢33名の参加のもと開催されました。14日午後3時過ぎにホテル手配の送迎バスおよび会員乗用車に分乗し、シャープ体育館からJR矢板駅東口を経由し鬼怒川温泉に向かい、約1時間後ホテルに到着しチェックインしました。その後、宴会までの間は山肌を見ながら近くの吊り橋まで散歩したり、二階にある温泉でゆっくり温まったりして、日頃の疲れを癒してフリータイムを過ごしました。午後6時から宴会場にて「平成30年新春賀詞交歓会」が開催、黒川副支部長の司会進行のもと荒田支部長、来賓の鳥井総務部長および労組の大島執行委員長にご挨拶を頂いた後、岩村顧問による乾杯の音頭で宴会開始となりました。（なお、例年参加頂いている中村市議はインフルエンザに罹患とのことで残念ながら欠席となりました）久々に顔を逢わせた仲間と懐かしい話に盛り上がったり、いつもの顔ぶれとおいしい酒を注ぎあったり、外の寒さとは裏腹に会場の熱気とアルコール度数は大いに上がる中、カラオケ同好会の会員が口火となりカラオケ大会も始まり、盛況な歓談が続きました。場が盛り上がっていましたが、早や時間ともなり浦川元顧問の戌年にちなんだ「ワン」締めで一次会はお開きとなりました。その後、場所を変えて2次会を開き、現役時代の思い出話や懐かしい話、お互いの近況や最近の活動を披露しあったりして深夜まで楽しいひと時を過ごしました。翌日は朝の温泉を楽しんだり、バイキングの朝食を取ったりした後、午前9時前に送迎バスで矢板に向け出発、全員無事矢板に到着し解散しました。



ホテル入り口で受付



荒田支部長の挨拶



挨拶に聞き入る参加者



宴会も中盤



一次会の締めは浦川さんの音頭で



二次会・話は尽きず



春のイベント「花見とバーベキュー懇親会」

4月13(金) 晴天とさわやかな風の絶好の日和の中、32名が参加、塩谷町自然休養村センターにて恒例の花見とバーベキュー懇親会が開かれました。2月の寒波と3月のぽかぽか陽気の影響から、ソメイヨシノは早や若葉となっておりましたが、枝垂れ桜や八重桜に迎えられての賑やかな春の懇親行事となりました。集合写真を撮った後、参加の面々、それぞれ手慣れた段取りで器材運びや炉の火起こし、野菜の下準備が進められ、荒田支部長の挨拶と岩村顧問の乾杯の音頭でバーベキュー開始となりました。おいしい生ビールを片手に牛肉やラム肉に舌鼓を打ち、賑やかに楽しく飲み、食い、歓談も大いに盛り上がりしました。仕上げには焼きそばを食べ、お腹も満腹、気分は最高の内に懇親会はお開きとなりました。最後は、「立つ鳥跡を濁さず」で、ほろ酔いの体に鞭うって現場の後片付け清掃を行い、バスで帰路につきました。



集合写真撮影場所へ



BBQ材料の仕込み中



荒田支部長の開催の挨拶



みんなで乾杯



間もなくBBQの焼き上がり



BBQ本番



社会貢献活動(CSR)

◆ SGC活動・矢板市 長峰公園美化活動と健康ウォーキングに参加

5月19日(土)午前9時より、SGC活動『矢板市長峰公園の清掃と健康ウォーキング』が行われました。当日は天候にも恵まれ清々しい風の中、公園内の清掃を行い、その後に参加者は健保協賛の公園周辺1.5kmの健康ウォーキングにも参加しました。社友会からは9名が参加し、気持ちのいい汗を流しました。



社友会栃木支部からの参加者



鳥井総務部長の開会の挨拶



健康ウォーキングする参加者

◆ 川崎城跡公園の下草刈り活動に参加

5月26日(土)午前8時より、川崎城跡公園の下草刈りが行われました。矢板市長のご挨拶の後、城跡奥側と河岸周辺の二手に分かれ、一時間半にわたり草刈りを実施しました。城跡奥側の草はかなり伸びて大変な状態でしたが、社友会からは5名(海瀬、矢板、岩村、荒田、後藤)が参加し、きれいに刈込まれました。



社友会栃木支部からの参加者



プロ顔負けの草刈り活動中



社友会会員のみなさん

【編集後記】

今号は支部設立三十周年記念号で前号より増頁となり、原稿集めに一苦労しました。何とか全頁を埋める事が出来、ほっとしている所です。会報作成にあたり協力して頂いた皆様には、予定日に発行出来た事、感謝致します。編集長・青木正和

【表紙説明】

流れる雲の間から日差しを浴びて艶やかに光り輝く陽明門四十年ぶりの大修復を終え、古代中国の故事や聖人をかたどった彫刻五〇八体の極彩色や漆塗り、金箔を施した飾り金具、純白の柱などが美しくよみがえった。迫りくる下迫力に負けないようにシャッターを切りました。撮影…大屋信幸

長寿 おめでとうございます！

対象期間：H29.10.1～H30.3.31

※ 日付は誕生日

◆ 米 寿 ◆

347 関 栄三 12/1

◆ 喜 寿 ◆

1797 城本 昭	11/18	1844 鈴木 紘一	2/15
1792 岩村 博	12/4	1881 中野 武久	3/21
1794 松山 善匡	12/15	1882 廣島 好美	3/27
1812 富岡 正雄	1/2		

◆ 古 希 ◆

5222 内山 章	10/16	4101 岩谷 秀勝	2/6
4853 熊谷 利夫	11/15	4090 野中 春夫	2/12
3998 金子 真司	12/1	4538 津久井秀一	2/20
4012 河野 孝司	12/9	4967 佐藤彦三郎	2/22
4103 白川 寿	1/1	4517 並木 利雄	2/24
4054 林 二三一	1/10	4102 辻 勉	2/27
6261 奥村上 博	1/17	4121 星野 幹夫	3/4
4104 山口 重一	2/1	4137 藤本 渉平	3/25